

		令和5年度 西京市立東小學校 学校評価表		「ともに学び合い、心ゆたかに生きる子」		学校関係者評価													
＜学校教育目標＞		○よく考える子（知） ○思いやりのある子（徳） ○たくましい子（体）		西京市子ども条例の理念のもと、自他の人権を尊重し、よりよい国際社会を築くための資質や能力の伸長を図る。自ら学び、自ら考え、心豊かで思いやりのある元氣な児童の育成を目指す。		学校関係者評価 A・・・評価は適切である B・・・評価に一部改善が必要である C・・・全体的に改善が必要である													
＜目指す学校像・児童像・教師像＞		児童の学びを大切に、保護者、地域とともに歩む学校		創造性と先進性のある学校経営を進め、保護者や地域の信頼に応える学校を目指す。学校教育の成果を継承しつつ、「不易」と「流行」を見極めて、改革・改善を図る		学校関係者評価欄													
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	教職員		児童	分析	改善策	評価	御意見									
				学年	評価						学年	評価							
健康で安全な学校生活	児童の健康と安全の増進	体力づくり、健康や食に関して計画的に指導し、児童・保護者への啓発を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・業間体育の実施により、児童に体を動かす楽しさを味わわせる。 ・「遊び」が体力向上に果たす役割を重視し、外遊びを啓発し運動の日常化を図る。 	4	児童のできているという評価80%以上	1	3.6	78.7	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間での過ごし方では、校庭でのクラス遊びや、番宣活動による外遊びの励行を積極的に行い、学校全体で体力向上の取組となっている。 ・今年度も体育週間には週間ごとに設定する。委員会や部活動等においても、取組の質や内容を改善していき、充実した運動量の確保を目指す。高学年に対して、運動の良さや、健康との関連について教材指導と絡めて指導し、児童が自主性をとって体を動かすことを目指す。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年比で4学年の評価が低くなっているのが気になる。 ・体力向上を目的とした「遊び」ではなく、児童が「楽しい」と感じるような遊びを取り入れた方がよいと思う。 ・外遊びは、先立も各学年別年次で実施して児童に出来ることと、良い効果に繋がっている。 ・学期に余裕があれば、クラス全体で外遊びをする日を確保し、保体中に児童が主体的に発表し出し、決定する等のやり方を工夫してみるとよいと思う。 								
				3	児童のできているという評価70%以上	2	3.0					82.2	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、月々の訓練の積み重ねにより、安全に身を守る行動を定着することができている。児童の避難訓練への意識も高い。 ・セーフティ教室では、各学年の発達段階に合わせた内容を実施した。春期の安全教育を通して、児童の防犯・防災・安全意識を高めてきたことに加え、高学年や地域に、防犯・安全意識を高めるための、校外学習等での過ごし方にも、課題や気づきを生かして、校内での学習や、歩行の徹底や教室環境を統一させながら進めたい学校生活が送れるようにする必要がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の避難訓練が身に付いているのか、家庭でも応用しているのか、このまま続けてほしい。 ・児童の防災意識は学年を通しで非常に高く、安全な学校づくりに向けて、是非に非難を受けたい。防災意識の高い児童を通して、各家庭に防災意識の考え方を発信できる良い。 ・北道地方の震災の影響で、防災意識が高まっているがその訓練効果の検証が必要。 				
				2	児童のできているという評価60%以上	3	3.0									79.7	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット学習では、各学年の学習内容を身に付け、自分の考えを表現することができている。学年が上がるにつれ、個人の学習状況に応じて、タブレットやタブレットを活用して自ら学習課題をこなせる児童も増えてきている。 ・自分の考えをもつことではあるが、相手にかかりやすくなることや、図や表などを用いた説明に苦手意識があり、タブレットを効果的に取り入れ、授業で学んだ知識をさらに再構築していく授業展開が必要である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの文字は、個性の表れでもあるので、タブレットだけではなく紙媒体での表現も効果的に活用し、このことに安心した。 ・情報教育のツールも活用してほしい。 ・非常に難しい様相で、児童の自己評価が低いことと、非常に関心がある。子どもにとって魅力的なタブレット学習の教材やアプリの導入が望ましい。
				1	児童のできているという評価60%未満	4	3.0												
4	保護者のできているという評価80%以上	1	3.5	94.8	<ul style="list-style-type: none"> ・「タブレット学習では、各学年の学習内容を身に付け、自分の考えを表現することができている。学年が上がるにつれ、個人の学習状況に応じて、タブレットやタブレットを活用して自ら学習課題をこなせる児童も増えてきている。 ・自分の考えをもつことではあるが、相手にかかりやすくなることや、図や表などを用いた説明に苦手意識があり、タブレットを効果的に取り入れ、授業で学んだ知識をさらに再構築していく授業展開が必要である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものやる気や行動がいかにあるのか児童に具体的に提示して意欲付けできるように、研修内容を発信していく。いじりやいじめの防止は引き続き行うことと学校指導を深めながら、身なりの指導も継続して行っていく。 ・今年度も面談を実施し、気になるときは家庭と連携を深めながら早期に対応していく。日頃から、話しやすい環境づくりを継続し、トラブルの発生も児童の思いを受け止める場所があることと話し合えるようにしていく。 												
3	保護者のできているという評価70%以上	2	3.7					80.6	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の学習内容では、6～9年近い知識を身に付けていることの結果が現れたが、高学年に比べ、基礎・基本の学習内容が定着していない実態がある。 ・読書では、「100冊チャレンジ」の取組方法について、母語指導では、低学年児童は、読書が継続して取り始めるようになり、家庭における読書については二極化傾向にあることが分かった。 ・家庭学習指導者通達では、本取組の進捗を教職員全体で共有するようになり、発達段階や個々の実態に応じて課題を見直しが必要がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童からの先生方への信頼感が結果として出て、安心した。 ・児童との信頼関係を築いていく。研修内容を発信していく。いじりやいじめの防止は引き続き行うことと学校指導を深めながら、身なりの指導も継続して行っていく。 ・今年度も面談を実施し、気になるときは家庭と連携を深めながら早期に対応していく。日頃から、話しやすい環境づくりを継続し、トラブルの発生も児童の思いを受け止める場所があることと話し合えるようにしていく。 								
2	保護者のできているという評価60%以上	3	3.6									90.4	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末やふれあい月間に合わせて、市の教育相談窓口の手帳を配布し、生活指導課で具体的な事例を示して活用していただく機会を設ける。また、生活指導課でいじめ防止に関する研修を行い、学校全体でいじめ防止に取り組み体制をとっていく。 ・今年度も面談を実施し、気になるときは家庭と連携を深めながら早期に対応していく。日頃から、話しやすい環境づくりを継続し、トラブルの発生も児童の思いを受け止める場所があることと話し合えるようにしていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・SOSを出しやすい環境整備が何よりも重要。心に寄り添うことを大切にしていきたい。 ・困った時には、相談窓口の存在を知ってもらうだけでなく、困った時に相談窓口へ行く機会を積極的に提供していただくことにより、機会や手段、学級指導を通して児童に知らせていく。 ・困ったことになった時のSOSの出し方を、ふれあい月間の日頃からの告知を継続して行うことで、様々な相談機関の存在を知ってほしい。 				
1	保護者のできているという評価60%未満	4	3.6													85.6	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末やふれあい月間に合わせて、市の教育相談窓口の手帳を配布し、生活指導課で具体的な事例を示して活用していただく機会を設ける。また、生活指導課でいじめ防止に関する研修を行い、学校全体でいじめ防止に取り組み体制をとっていく。 ・今年度も面談を実施し、気になるときは家庭と連携を深めながら早期に対応していく。日頃から、話しやすい環境づくりを継続し、トラブルの発生も児童の思いを受け止める場所があることと話し合えるようにしていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・SOSを出しやすい環境整備が何よりも重要。心に寄り添うことを大切にしていきたい。 ・困った時には、相談窓口の存在を知ってもらうだけでなく、困った時に相談窓口へ行く機会を積極的に提供していただくことにより、機会や手段、学級指導を通して児童に知らせていく。 ・困ったことになった時のSOSの出し方を、ふれあい月間の日頃からの告知を継続して行うことで、様々な相談機関の存在を知ってほしい。
4	児童のできているという評価80%以上	1	3.8	90.4	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末やふれあい月間に合わせて、市の教育相談窓口の手帳を配布し、生活指導課で具体的な事例を示して活用していただく機会を設ける。また、生活指導課でいじめ防止に関する研修を行い、学校全体でいじめ防止に取り組み体制をとっていく。 ・今年度も面談を実施し、気になるときは家庭と連携を深めながら早期に対応していく。日頃から、話しやすい環境づくりを継続し、トラブルの発生も児童の思いを受け止める場所があることと話し合えるようにしていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業期間を指定して、早めの発覚及び校内での統一は本当に助かると思う。是非、実施して欲しい。 ・改訂版は、良いと思う。保護者からの声にも目を付け、課題を見出しことに繋がります。誰にでも分かりやすい形での必要性を交付された今後に期待しています。 ・ホームページと実態の照らし合わせが、技術的には自動的に把握することはできると思う。SNSを活用した情報発信も効果的だと思う。 ・保護者以外の方にも学校のことを知ってほしい。 												
3	児童のできているという評価70%以上	2	3.9					85.6	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末やふれあい月間に合わせて、市の教育相談窓口の手帳を配布し、生活指導課で具体的な事例を示して活用していただく機会を設ける。また、生活指導課でいじめ防止に関する研修を行い、学校全体でいじめ防止に取り組み体制をとっていく。 ・今年度も面談を実施し、気になるときは家庭と連携を深めながら早期に対応していく。日頃から、話しやすい環境づくりを継続し、トラブルの発生も児童の思いを受け止める場所があることと話し合えるようにしていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わる者の一人として団体として、東小学校と共働することによって様々なことと期待している。 ・学校関係者の角に立つことで学校関係者として下りきりになる。 ・コミュニケーションの全てが理解できていないので、地道に見えるよう期待してほしい。 ・保護者の現状評価は高いので、長期的な視点で策定したコミュニケーション化を進めてほしい。 								
2	児童のできているという評価60%以上	3	3.9									85	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末やふれあい月間に合わせて、市の教育相談窓口の手帳を配布し、生活指導課で具体的な事例を示して活用していただく機会を設ける。また、生活指導課でいじめ防止に関する研修を行い、学校全体でいじめ防止に取り組み体制をとっていく。 ・今年度も面談を実施し、気になるときは家庭と連携を深めながら早期に対応していく。日頃から、話しやすい環境づくりを継続し、トラブルの発生も児童の思いを受け止める場所があることと話し合えるようにしていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、いつも大変な努力に感謝している。 ・タブレットの活用が期待されているが、組織整備を取って取組れていることがよく理解できる。 ・校務分掌に基づくことのみならず、連携を促進して共通認識を持ち、共通理解を深めることは、とても素晴らしい。 ・生活指導課の業務で、パソコンは使いこなす技術が求められる。 ・校務の引継ぎに関して、誰が引継いでいるか確認できるようにすることができるとよい。 				
1	児童のできているという評価60%未満	4	3.8													90	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末やふれあい月間に合わせて、市の教育相談窓口の手帳を配布し、生活指導課で具体的な事例を示して活用していただく機会を設ける。また、生活指導課でいじめ防止に関する研修を行い、学校全体でいじめ防止に取り組み体制をとっていく。 ・今年度も面談を実施し、気になるときは家庭と連携を深めながら早期に対応していく。日頃から、話しやすい環境づくりを継続し、トラブルの発生も児童の思いを受け止める場所があることと話し合えるようにしていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、いつも大変な努力に感謝している。 ・タブレットの活用が期待されているが、組織整備を取って取組れていることがよく理解できる。 ・校務分掌に基づくことのみならず、連携を促進して共通認識を持ち、共通理解を深めることは、とても素晴らしい。 ・生活指導課の業務で、パソコンは使いこなす技術が求められる。 ・校務の引継ぎに関して、誰が引継いでいるか確認できるようにすることができるとよい。
4	保護者のできているという評価80%以上	1	3.7	85.6	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者の会、育成会、各種運営委員会が担っている内容と学校の業務を再検討し、次年度の取組内容を整理した。 ・学校は、保護者の会、育成会、関係機関等と協力して、教育活動を進めたいと思っております。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に関わる者の一人として団体として、東小学校と共働することによって様々なことと期待している。 ・学校関係者の角に立つことで学校関係者として下りきりになる。 ・コミュニケーションの全てが理解できていないので、地道に見えるよう期待してほしい。 ・保護者の現状評価は高いので、長期的な視点で策定したコミュニケーション化を進めてほしい。 												
3	保護者のできているという評価70%以上	2	3.5					85	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者の会、育成会、各種運営委員会が担っている内容と学校の業務を再検討し、次年度の取組内容を整理した。 ・学校は、保護者の会、育成会、関係機関等と協力して、教育活動を進めたいと思っております。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、いつも大変な努力に感謝している。 ・タブレットの活用が期待されているが、組織整備を取って取組れていることがよく理解できる。 ・校務分掌に基づくことのみならず、連携を促進して共通認識を持ち、共通理解を深めることは、とても素晴らしい。 ・生活指導課の業務で、パソコンは使いこなす技術が求められる。 ・校務の引継ぎに関して、誰が引継いでいるか確認できるようにすることができるとよい。 								
2	保護者のできているという評価60%以上	3	3.7									90	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者の会、育成会、各種運営委員会が担っている内容と学校の業務を再検討し、次年度の取組内容を整理した。 ・学校は、保護者の会、育成会、関係機関等と協力して、教育活動を進めたいと思っております。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、いつも大変な努力に感謝している。 ・タブレットの活用が期待されているが、組織整備を取って取組れていることがよく理解できる。 ・校務分掌に基づくことのみならず、連携を促進して共通認識を持ち、共通理解を深めることは、とても素晴らしい。 ・生活指導課の業務で、パソコンは使いこなす技術が求められる。 ・校務の引継ぎに関して、誰が引継いでいるか確認できるようにすることができるとよい。 				
1	保護者のできているという評価60%未満	4	3.5													85	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者の会、育成会、各種運営委員会が担っている内容と学校の業務を再検討し、次年度の取組内容を整理した。 ・学校は、保護者の会、育成会、関係機関等と協力して、教育活動を進めたいと思っております。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、いつも大変な努力に感謝している。 ・タブレットの活用が期待されているが、組織整備を取って取組れていることがよく理解できる。 ・校務分掌に基づくことのみならず、連携を促進して共通認識を持ち、共通理解を深めることは、とても素晴らしい。 ・生活指導課の業務で、パソコンは使いこなす技術が求められる。 ・校務の引継ぎに関して、誰が引継いでいるか確認できるようにすることができるとよい。
4	教職員のできているという評価80%以上	1	3.7	90	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者の会、育成会、各種運営委員会が担っている内容と学校の業務を再検討し、次年度の取組内容を整理した。 ・学校は、保護者の会、育成会、関係機関等と協力して、教育活動を進めたいと思っております。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、いつも大変な努力に感謝している。 ・タブレットの活用が期待されているが、組織整備を取って取組れていることがよく理解できる。 ・校務分掌に基づくことのみならず、連携を促進して共通認識を持ち、共通理解を深めることは、とても素晴らしい。 ・生活指導課の業務で、パソコンは使いこなす技術が求められる。 ・校務の引継ぎに関して、誰が引継いでいるか確認できるようにすることができるとよい。 												
3	教職員のできているという評価70%以上	2	3.7					90	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者の会、育成会、各種運営委員会が担っている内容と学校の業務を再検討し、次年度の取組内容を整理した。 ・学校は、保護者の会、育成会、関係機関等と協力して、教育活動を進めたいと思っております。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、いつも大変な努力に感謝している。 ・タブレットの活用が期待されているが、組織整備を取って取組れていることがよく理解できる。 ・校務分掌に基づくことのみならず、連携を促進して共通認識を持ち、共通理解を深めることは、とても素晴らしい。 ・生活指導課の業務で、パソコンは使いこなす技術が求められる。 ・校務の引継ぎに関して、誰が引継いでいるか確認できるようにすることができるとよい。 								
2	教職員のできているという評価60%以上	3	3.7									90	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者の会、育成会、各種運営委員会が担っている内容と学校の業務を再検討し、次年度の取組内容を整理した。 ・学校は、保護者の会、育成会、関係機関等と協力して、教育活動を進めたいと思っております。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、いつも大変な努力に感謝している。 ・タブレットの活用が期待されているが、組織整備を取って取組れていることがよく理解できる。 ・校務分掌に基づくことのみならず、連携を促進して共通認識を持ち、共通理解を深めることは、とても素晴らしい。 ・生活指導課の業務で、パソコンは使いこなす技術が求められる。 ・校務の引継ぎに関して、誰が引継いでいるか確認できるようにすることができるとよい。 				
1	教職員のできているという評価60%未満	4	3.7													90	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、保護者の会、育成会、各種運営委員会が担っている内容と学校の業務を再検討し、次年度の取組内容を整理した。 ・学校は、保護者の会、育成会、関係機関等と協力して、教育活動を進めたいと思っております。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのために、いつも大変な努力に感謝している。 ・タブレットの活用が期待されているが、組織整備を取って取組れていることがよく理解できる。 ・校務分掌に基づくことのみならず、連携を促進して共通認識を持ち、共通理解を深めることは、とても素晴らしい。 ・生活指導課の業務で、パソコンは使いこなす技術が求められる。 ・校務の引継ぎに関して、誰が引継いでいるか確認できるようにすることができるとよい。